

明神さま

宇都宮二荒山神社

疫病退散 無病息災



目次

- 1 祈 疫病退散 御大典記念事業報告
- 2 日本書紀1300年『日本書紀』の成立と豊城入彦命 一東国統治の起源譚一
- 5 祭礼協賛者芳名 宇都宮黄ふな伝説
- 6 こころを込めて、想いを込めて
- 7 お知らせ 新しい生活様式で迎えるお正月

祈 疫 病 退 散

新型コロナウイルス感染症の早期終息と、
影響をお受けになられた方々の一日も早い回復を
心よりご祈念申し上げます。

宇都宮二荒山神社

新型コロナウイルス感染症が世界中に広まり、早くも10か月が過ぎました。地域社会の皆様におかれましても、さまざまに影響を被り、不安な日々を過ごしておられることと思います。当社におきましても、残念ながら諸祭礼行事の中止や縮小などを余儀なくされております。

しかしこのような中であつてこそ、祭りにより人々の祈りの心を継承してゆくことは、大切なことだと言えるのではないのでしょうか。今後も当社では、歴史ある神事の伝統をお守りしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。今回の社報では、特集として日本書紀1300年に関する御寄稿をいただきました。当社の御祭神への敬慕の念を更に深めていただければ幸いです。

また、令和3年のお正月を迎えるにあたっては、十分な感染防止対策に努め初詣での皆様をお迎えさせていただきたく。尚、各種ご案内を掲載させていただいておりますので、ご覧いただきたく存じます。

ご神前に日々世のご安寧とコロナ禍鎮静の祈りを捧げ、氏子崇敬者みなさまのご健勝ご繁栄を心より願っております。

宮司 阿部 徳

御大典奉祝記念事業御報告

天皇陛下御即位御大典奉祝として、昨年より引き続き記念事業を執り行っております。

東神苑歩道（令和2年8月）

境内の東側に新たに歩道を整備しました。神社正面の大鳥居と焚き上げ所のある東側を結び、竹林・樹林の中を通りご参拝いただけます。



拝殿昇殿入口（令和2年8月）

ご祈禱などで拝殿に昇殿する際にご利用いただく昇殿口の改築を行いました。雨天時や緩やかな傾斜の階段により、昇降の際の利便性が向上しました。



スロープ設置（令和2年9月）

社務所北東側に、スロープと新たな入口を設けました。焚き上げ所のスロープも改修を行いました。



拝殿床暖房設置（令和2年8月）

拝殿の畳に床暖房設備を設置しました。畳の下に最新式のパネルヒーターが敷かれており、冬季には暖かくお座りいただけます。

西参道鳥居建立（令和3年3月予定）

西参道に、栃木県産の杉材（樹齢150年）を使用して、新たに鳥居（神明鳥居）を建立する予定です。



『日本書紀』の成立と豊城入彦命

― 東国統治の起源譚 ―

栃木県立博物館学芸員 山本 享史

今から一三〇〇年前に編さんされた史書『日本書紀』は、日本という国家の起源と成り立ちを知ることができる貴重な書物である。数多くある逸話のうち、武勇に優れた崇神天皇の皇子豊城入彦命が初めて東国統治を担い、その始祖となったという起源譚も載せている。このような豊城入彦命の位置づけは、『日本書紀』編さん時の東国情勢と密接に関係していた。すなわち、国家に抵抗し続けた東北の蝦夷と対峙する東国の重要性和、下野国河内郡(宇都宮市・下野市ほか)を拠点とした大豪族下毛野氏の存在が反映されたものと理解される。



図1 下毛野朝臣古麻呂(イメージ写真:「ビジュアル版 下野薬師寺」より)

『日本書紀』とは

『日本書紀』は、奈良時代の養老二年(七二〇)に律令国家によって編さんされた史書である。中国にならって漢文で編まれ、神代から持統天皇十一年(六九七)に至る内容を収録する。一般に、史書は目的意識を持つてつくられるが、『日本書紀』も天皇を中心とした国家としての歴史的なアイデン

ティティーと正当性を主張するために編さんされた。ほぼ同じ時期、和銅五年(七二二)に完成した史書『古事記』と並び両書は「記紀」と称されている。

『日本書紀』の記述は、皇室による国土統治の起源を説く神代から始まるが、天照大神の子孫としての初代神武天皇の即位、日本武尊による東征伝などの建国神話がよく知られている。また、古代氏

族の始祖の起源についての記述も多く、下毛野国(のち下野国に改称)を拠点とした大豪族下毛野氏は、宇都宮二荒山神社の御祭神である豊城入彦命を始祖と称していたことがわかる。

『日本書紀』が編さんされた時代のこのことに関して、『日本書紀』の編さんが行われた七世紀後半か

ら八世紀前半、下毛野氏が地方氏族のなかでも特に有力であったことに注目したい。たとえば、七世紀後半にすでに中央貴族化していた下毛野朝臣古麻呂(図1)は実質的な『大宝律令』の選定者の首座にあり、同じく一族の下毛野石代は東北の蝦夷の反乱に際して征夷副将軍に任命されている。

また、宇都宮二荒山神社を含む下毛野氏の勢力圏であった河内郡

には、一族の氏寺が発祥ともいわれる下野薬師寺（下野市）が所在していた（図2）。下野薬師寺は、八世紀中ごろに唐の僧侶鑑真和尚がもたらした授戒作法を執り行う戒壇院が東国で唯一設置され、東大寺（奈良県奈良市）、観世音寺（福岡県太宰府市）とならび「天下三戒壇」と称された名刹である。



図2 下野薬師寺全景CG(南側から:下野市教育委員会提供)

このように、『日本書紀』編さん当時、下毛野氏一族は東国を代表する氏族であった。後述するように、このことが東国統治のはじまりを象徴する豊城入彦命が始祖に位置づけられる背景にあったと考えられる。

豊城入彦命とその一族

『日本書紀』における豊城入彦命（豊城命）について、巻第五「御間城入彦五十瓊殖天皇（崇神天皇）」に記述がある（図3・左ページ上段「現代語訳」を参照）。以下、この記述を中心にして豊城命について述べていきたい。



図3 崇神天皇紀の冒頭
（『日本書紀』巻五、栃木県立博物館蔵）

豊城入彦命 関連系図

数字は皇位継承の順

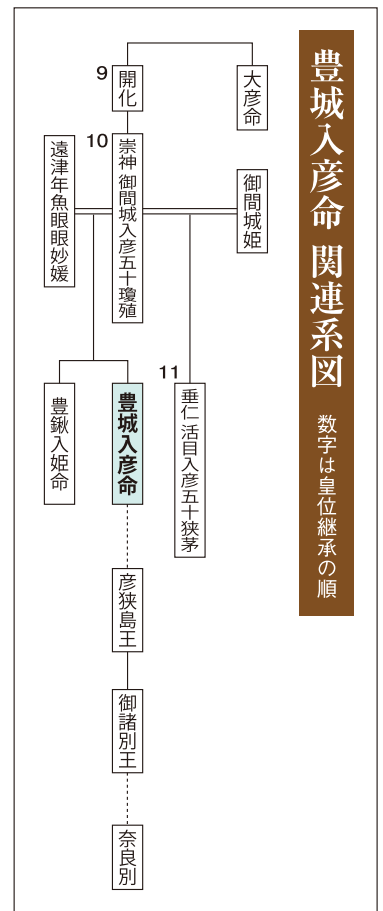


図4 豊城入彦命関連系図

豊城命は、父が一〇代崇神天皇、母は紀伊国（和歌山県）の荒河戸の娘、遠津年魚眼妙媛とされ、同母妹に豊鍬入姫命がいた（図4）。前述のように、『日本書紀』では神武が「始馭天下之天皇」すなわち初代天皇とされているが、父崇神についても「御肇国天皇」と表現されており、崇神を四世紀初めころの実質的なヤマト政権の祖とする見方が強い。崇神には三輪山（御諸山とも、奈良県桜井市）にまつわる伝承があることから、その根拠地は三輪山周辺とみられている。いっぽう、外祖父の荒河戸畔は「古事記」に「木（紀伊）国造」とあることから、母方一族は紀伊における有力豪族であったと考えられる。

豊城命は、父が一〇代崇神天皇、母は紀伊国（和歌山県）の荒河戸の娘、遠津年魚眼妙媛とされ、同母妹に豊鍬入姫命がいた（図4）。前述のように、『日本書紀』では神武が「始馭天下之天皇」すなわち初代天皇とされているが、父崇神についても「御肇国天皇」と表現されており、崇神を四世紀初めころの実質的なヤマト政権の祖とする見方が強い。崇神には三輪山（御諸山とも、奈良県桜井市）にまつわる伝承があることから、その根拠地は三輪山周辺とみられている。いっぽう、外祖父の荒河戸畔は「古事記」に「木（紀伊）国造」とあることから、母方一族は紀伊における有力豪族であったと考えられる。

豊城入彦命と東国のつながり

崇神天皇は、後継者を決めるため、兄の豊城命と弟の活目尊がそれぞれ見た夢を占うことにした。すなわち、御諸山（三輪山）の頂上に登り縄を四方に引き渡して、粟を食む雀を追いはらったとする活目尊を、四方に心を配ったとい

- 元年…崇神天皇の皇妃である紀伊国（和歌山県）の荒河戸畔という人物の娘、遠津年魚眼妙媛は、豊城入彦命・豊鍬入姫命の二人を生んだ…
- 四十八年春一月十日、天皇は豊城命・活目尊に対し次のように命令した。「お前たち二人の子は、どちらも同じようにかわいい。どちらを跡継ぎとするのがよいか分からない。それなら、それぞれ夢を見なさい。夢で占うことにしよう」と。二人の息子は命令をうけたまわって、浄沐（川で水浴し髪を洗うこと）し、お祈りをして寝た。そして、それぞれ夢を見た。夜明けに兄の豊城命は、夢について「私は、御諸山（奈良県桜井市の三輪山）に登って東に向かって、八度槍を突き出し、八度刀を空に振りました」と天皇に申し上げた。弟の活目尊は「私は、御諸山の頂上に登って、縄を四方に引き渡して、粟を食べる雀を追い払いました（稔り豊かになることを考えたという意）」と申し上げた。天皇は夢占いをして、二人の子に「兄の豊城命はもっぱら東に向かって武器を用いたので、東国を治めるのによいだろう。弟の活目尊は四方に心を配っていたので、わが位を継ぐのによいだろう」といわれた。
- 四月十九日、天皇は活目尊を皇太子に立て、豊城命には東国を治めさせた。豊城命は上毛野君・下毛野君の先祖である。

うことから皇太子に定めた（のち一一代垂仁天皇）。一方、御諸山に登って東に向かい、八度槍を突き出し、八度刀を空に振ったという武勇優れる豊城命には東国を治めさせることにした。このため豊城命は毛野国の「上毛野君・下毛野君之始祖」として、上毛野氏と下毛野氏の始祖に位置づけられた（「君」とは、ヤマト政権における政治的な地位や序列を示す姓の一種）。

この位置づけは、『古事記』や系譜集『新撰姓氏録』などでも同様で、古代の共通認識であった。なお、史書『先代旧事本紀』卷十「国造本紀」によれば、五世紀初めころの一六代仁徳天皇の時代に毛野国は上下に分かれ、豊城命の子孫（四世孫）の奈良別が初めて下毛野国造を賜ったとする。社伝によると、宇都宮二荒山神社は奈良別によって創建されたという。

豊城入彦命による 東国統治の意味

前述のように、活目尊は皇后の嫡子であるのに対し、豊城命は地方豪族の娘を母に持ったため、どち

らを崇神の後継者にするかは本来比較にならないはずである。しかし、ここには『日本書紀』編さんの意図が感じられる。つまりこのエピソードは、武勇に優れる豊城命による東国統治が、天皇の即位とならぶ重要なことと強調するために挿入されたと考えられるのである。

事実、豊城命と東国との結びつきについては、その子孫の事績にも反映され、孫の彦狭島王は「東山道十五国都督」に任命されたとあり、ひ孫の御諸別王も「専ら東国を領す」とある。そして、御諸別王に関する記述の最後は「其の子孫、今も東国に有り」と締めくくられている。「今」とは『日本書紀』編さん時であり、「其の子孫」とは御諸別王の子孫つまり豊城命の子孫として下毛野氏などを指す。すなわち、東国統治が武勇に優れる豊城命とその子孫によって代々担われてきたことについて、『日本書紀』では一貫して強調さ

れているのである。

この背景には、『日本書紀』編さん当時、律令国家が東北の蝦夷と対峙するため東国を重要視していたこと、そして当時実際に東国の統治を担っていた下毛野氏らの正統性を豊城命に求めたことにならなかつたのではなからうか。なるほど、後世に東国の掌握を目指した藤原秀郷や源頼朝、徳川家康といった錚々たる武将が、こぞつて豊城命を祭る宇都宮二荒山神社で戦勝祈願したのも納得できることである（図5）。



図5 江戸時代における宇都宮二荒山神社の記述（『下野国誌』巻三、栃木県立博物館蔵）

【参考文献】

- 坂本太郎他校注『日本古典文学大系67 日本書紀上』岩波書店、一九六七年
- 井上光貞『神話から歴史へ』中央公論社、一九七三年
- 宇治谷孟『日本書紀（上） 全現代語訳』講談社、一九八八年
- 前沢和之「豊城入彦命系譜と上毛野地域とその歴史的特性をめぐって」（国立歴史民俗博物館研究報告44）一九九二年
- 遠藤慶太『六国史く』日本書紀に始まる古代の「正史」中央公論新社、二〇一六年

渡御祭礼協賛者芳名(敬称略)

令和元年度渡御祭礼にご協賛いただきました
方々のご芳名を掲載しております。

- (有)福勝不動産 ● (有)鈴木電気 ● 関根則次公認会計士事務所 ● 合資会社花久 ● 福田勝美 ● (有)福田コーポレーション ● 松本功 ● (有)料亭明治屋 ● 大谷通り桜会 ● 谷田部峻 ● 谷田部石材販売 ● 山本孝雄 ● (有)八百熊本店 ● 松本光司 ● 清水明 ● 大和証券(株)宇都宮支店 ● (株)常陽銀行宇都宮支店 ● 野村證券(株)宇都宮支店 ● 下野印刷(株) ● (株)栃木銀行馬場町支店 ● (株)東武ホテルマネジメント宇都宮東武ホテルグランデ ● (株)トーホー・北関東 ● 昭和商事(株) ● (株)竹石ビル ● とちぎんT T証券(株) ● 印出井歯科医院 ● 秋山塗工(株) ● (株)福田屋百貨店 ● (株)大和食品(株) ● (株)福田機械 ● (株)山本損保プロ保険サービス ● タイムズ24(株) ● 東邦銀行宇都宮支店 ● 荒井一郎 ● 高橋勝男 ● ビューティーサロンモード ● 千蔵工業(株) ● 奥村税務会計事務所 ● 塩井庸次 ● 高橋 昭 ● 税金事務所 ● 高橋裕樹 ● 銀座齋藤千代子 ● パークラック柿沼典克 ● 田舎料理水月柿沼英雄 ● (有)齋藤石材店齋藤充 ● (株)五光宇都宮店 ● 富塚メディカルクリニック院長富塚浩 ● (株)テクニカルワーク代表取締役矢野隆昭 ● (有)堺屋商店 ● 宇都宮オリオン通り商店街振興組合 ● ゆたか陶器 ● (有)シルバー大橋敦司 ● 長谷川時計店 ● (株)丸美屋呉服店 ● 関一夫 ● 藤井昌一 ● ハマダ交通(株) ● 田中洋一 ● 鈴木功 ● 田中駐車場 ● 時計・宝石タケカワ ● (株)足利銀行宇都宮支店 ● フタバ食品(株) ● 医療法人至誠会滝澤病院 ● 烏山信用金庫 ● 栃木トヨタ自動車(株) ● (株)家具の上野 ● (有)シンガイ写真館 ● (有)長瀬文具店 ● (有)長岡工業 ● 宇都宮ランドホテル ● (有)ラッキーデザイン ● 三栄不動産(株) ● 勝田亨 ● 鈴木久子 ● 照井栄子 ● 鈴木洋子 ● 増田安雄 ● 池田節子 ● (有)板倉美容院板倉富子 ● ユーユーワールド ● (株)キクヤ ● 斎藤商事(株) ● 銘茶関口園 ● 協同組合宇都宮餃子会 ● 宇都宮みんみん ● 榎屋グループ榎屋不動産株式会社 ● 野沢秀熙 ● 医療法人中山会宇都宮記念病院 ● 黒崎歯科医院 ● (有)鳥居薬局 ● ホテル・ニューイタヤ ● (有)佐野孝商店 ● (有)丸伊呉服店 ● 堀井宏祐 ● 税理士倉井章事務所 ● (株)福田屋呉服店 ● (株)池田亀次郎商店 ● 山二クリーニング(有)代表取締役上野裕司 ● 古宮酸素(株) ● (株)町田建塗工業 ● (株)須山液化ガス ● アクアインボツカ ● ナオミオオガキ ● (有)ル・プラン ● 居酒屋京屋 ● 金井会計事務所 ● フロマジユリーフイル ● コミミダ ● (有)酔心 ● 逢初寿し ● ワイン食堂T.M. ● デザイノアルグレイ田代暢雄 ● 中国料理虎前田賢司 ● (株)高崎工務店高崎英雄 ● 青源味噌(株) ● アサヒビル(株)栃木支店 ● 鈴木久一 ● 花正 ● (株)虎屋本店 ● (有)仁科権蔵商店 ● (有)オリオン商事 ● (株)井上総合印刷 ● (株)渡辺有規建築企画事務所 ● 渡辺建設(株) ● 栗田工業(株) ● (株)ダイドードリンコサービス関東宇都宮営業所 ● (株)とらや弥生 ● (株)ロココ企画装飾 ● 群馬銀行宇都宮支店 ● 秋澤信仁 ● (有)篠崎孝孝商店 ● (株)トーホク ● (株)渡清 ● (株)鱒測建設 ● (株)横倉本店 ● (株)辻由 ● 川村公認会計士事務所 ● (有)いねや旅館 ● (株)シノザキ ● (株)コアミ計測機 ● マスター商事(株) ● (有)松村 ● (株)オアシス ● 高林堂 ● ホテルサンルート宇都宮 ● 合名会社つちや ● 宇都宮ステーションホテル ● 宇都宮卸商業団地協同組合 ● (株)竹石紙店 ● 栃木小松フォークリフト(株) ● リコージャパン(株) ● (株)増測組 ● 宇都宮商工会議所 ● (株)宮本印刷 ● 小花塗装(株) ● タカクコーポ高工正三 ● 割烹中村 ● (有)アサヒ商事 ● 三和青果(株) ● カフェドオリーヴ

宇都宮黄ぶな伝説

黄ぶなの特別御朱印・御守が登場しました
「疫病退散」「無病息災」の願いをこめて…

宇都宮市の郷土玩具「黄ぶな」は縁起物として、市内上河原で行われる初市などで買い求められてきました。

くりっと丸い目や黄色い体の特徴の黄ぶなには「疫病退散・無病息災」の願いがこめられています。江戸時代に宇都宮で疫病が流行った時、田川に住む黄色いぶなを食べると重い病が治ったことから、人々が張り子の黄ぶなを作った縁起物としたことが始まりだと言われています。当社では、新型コロナウイルス感染症鎮静への願いもこめて、黄ぶなの絵が入った特別御朱印を9月から頒布しております。「疫病退散」と「無病息災」の2種類あり、素朴で可愛いデザインで好評です。

また、身につけることができる、黄ぶな御守も授与します。



特別御朱印「無病息災」



黄ぶな御守



特別御朱印「疫病退散」

こころを込めて、 想いを込めて

お伊勢さまは

日本をお守りくださる

尊い神さま

伊勢の神宮は、全国に数ある神社の中でも特別な存在のお宮で、皇室の御祖神である天照大御神あまてらすおみかみをおまつりしています。天照大御神は、太陽の光のように私たちの生命を守り、育んでくださる神さまです。お伊勢さまのお神札ふだを神宮大麻じんぐうたいまといい、全国の神社でお頒ちわかしています。

氏神さまは

私たちをお守りくださる

身近な神さま

日本では古くから、祖先に縁ゆかりの深い神さまや、地域をお守りくださる土地神さまを氏神としておまつりしてきました。おまつりされている神さまは神社によってさまざまですが、氏神さまは地域に住む子ども誕生から成長の過程などの日々の生活、地域の安全や平穏を見守ってくださいています。



新しい生活様式での お祈りのかたち

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、神社では、皆様に安心して安全に参拝いただけますよう、厚生労働省から示された「新しい生活様式」にあわせて、感染症対策に取り組み、参拝者をお迎えしています。

神宮大麻と氏神さまのお神札は神社の社頭でも頒布しております。皆様におかれましても、お氣をつけてお参りくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

神社でも皆様と共に、一日も早く事態が鎮静化するように祈願しております。

ご家庭でお神札を おまつりしよう

ご家庭の神棚に、お伊勢さまと地元の氏神さま、崇敬する神社のお神札をおまつりし、日々の暮らしの中の感謝と祈りをささげるとともに、お子さんの誕生や結婚など、ご家庭内で大きな出来事があった際には、氏神さまに報告し、新たに迎える生活の平穏を祈りま

しょう。

神棚は、居間など家族が集まる部屋の、目線より高い位置に、南または東向きに設置するのがよいとされています。一社づくりの場合には一番手前を天照皇大神宮にし、氏神神社・崇敬神社の順にお札を重ねて納めてください。

神棚がない場合は、タンスや本棚の上におまつりするなど、かたからにはじめてみましょう。

ご不明なことがありましたら、遠慮なく神社にお聞きください。

ご家庭でお神札をおまつりしよう



※一番手前を天照皇大神宮にし、
図の順にお神札を重ねて納めます。

新しい生活様式で迎える

お正月

初詣は

「三が日に限らず」

「混雑を避けて」

お参りしましょう

ご理解・ご協力をお願いします

- ・ 神社境内では、必ずマスクを着用してください。
- ・ 発熱や体調不良がある場合には、参拝をお控えください。
- ・ 神社では手指の消毒のお願いなど、さまざまな感染防止対策を行っています。

ご参拝について

新型コロナウイルス感染対策のため、ご参拝は混雑する日時を避け、また三が日に限らずご都合に応じて分散してのご参拝をお願いいたします。

令和3年の旧暦正月の元日は、2月12日です。また旧暦の1月は3月12日までとなりますので、ご参拝のご参考になさってください。

混雑が予想される日

例年、次のような日には混雑しております。ご参拝の参考にしてください。

● 正月三が日

3日間で約38万人

● 仕事始め

4日以降は企業団体の祈祷参拝が増えます

● 連休 1月9日(土)、10日(日)、

11日(月・成人の日)の連休

● おたりや

1月15日春渡祭(お焚き上げ)とその前後の日が混雑します

お正月混雑予想

月	火	水	木	金	土	日
28 御用納め	29	30	31 大晦日	1 元旦	2	3
4 仕事始め 会社団体祈祷	5 会社団体祈祷	6 会社団体祈祷	7 会社団体祈祷	8 会社団体祈祷	9	10
11 成人の日	12	13	14	15 おたりや (お焚き上げ)	16	17
18	19	20	21	22	23	24

【参拝時間】

開門午前5時～閉門午後7時
(東歩道は午後4時に閉門)

【初詣参拝経路】

正面階段

元日～3日は登り一方通行

女坂、西坂、東坂が帰路

※裏表紙掲載の

境内案内図をご覧ください。

ご祈禱について

ご祈禱も、新型コロナウイルス感染症対策として、ふだんの年とは違ったご対応となります。

ご理解ご協力をお願いします。

●ご祈禱は毎日ご奉仕致します。

(12月15日より令和3年新春特別祈願をご奉仕します)

●ご祈禱の昇殿人数を制限させていただきます。

(できるだけ少人数でお願いします)

●ご祈禱の郵送も対応致します。

※混雑緩和のため、2か所で行います。ご理解ご協力ください。

※マスク着用、検温にご協力をお願いします。

【祈禱場所】

- ・通常 拜殿
- ・初詣 拜殿：個人の方のご祈禱

祈禱所：会社や団体の方のご祈禱

【祈禱受付】

- ・通常 社務所受付
- ・初詣 臨時受付

※裏表紙掲載の

境内案内図をご覧ください。

【郵送祈禱】

郵送申し込み用紙をご使用ください。

【ご祈禱】

1、申込、初穂料納め

2、ご祈禱、御神札の受取

①当日ご祈禱

(申込日にご祈禱を行います)

②御神札お持ち帰り

(昇殿せずに御神札をお持ち帰りできます)

③予約祈禱

(予約日にご祈禱を行います)

御神札・御守・縁起物

御神札・御守は毎日授与しております。

破魔矢など縁起物の授与は、例年1月1日からですが、特別に12月15日より行います。

混雑を避けてお受けください。

【授与所】

- ・通常 神札所、社務所
- ・初詣 臨時授与所

※裏表紙掲載の境内案内図をご覧ください

【御神札・御守・縁起物授与】

感染症対策として、次の対応を行う場合があります。

- 1、申込 神社備え付けの申込用紙に記入。
- 2、受取 授与所の窓口で、申込用紙に初穂料を添えて申込。その場でお受取り。



本誌9・10ページの
御神札・御守・縁起物一覧を
ご覧ください。

御神札・御守・縁起物は
12月15日より授与します。

神社ではインターネットなどでも情報提供をしています。ご参照ください。

ホームページ <http://futaarayamajinja.jp/> 宇都宮二荒山神社 ツイッター @futaarasan 宇都宮二荒山神社【公式】

お問い合わせ 社務所 電話 028-622-5271 (午前9時～午後4時)



7 幣束(白) 500円
8 幣束(赤) 500円
9 幣束(青) 500円



10 紙垂(中) 300円



6 商売繁昌大麻 1,000円



5 二荒山大麻 1,000円



3 組大麻(4と5のセット) 2,200円



1 神宮大麻(大) 2,300円
2 神宮大麻(中) 1,700円
4 神宮大麻 1,200円

御神札

16 交通ステッカー 300円



17 交通ステッカー(横) 500円



15 交通キーホルダー守 500円



14 交通安全守 1,000円



13 交通安全守 1,000円



12 交通安全守 1,000円



11 交通安全守 1,000円

交通安全



22 必勝守 500円



21 必勝袋守 1,000円

勝負事



20 仕事守 1,000円



19 合格守 1,000円



18 学業えんぴつ守 1,000円

学業・仕事



28 黄ふな錦守 1,000円



29 黄ふな巾着守 1,000円



27 厄除守 1,000円



26 身代わり守(女) 500円



25 身代わり守(男) 500円



24 錦守(小) 500円



23 錦守(大) 1,000円

身体健全・厄除

御神札・御守・縁起物は12月15日より授与します

開運・その他



37 七宝守 1,000円

35 福鈴守 500円

33 巾着守 500円

31 貝守 500円

36 金運守 1,000円

34 千支うるし守 500円

32 鈴守 500円

30 福銭 300円



42 勾玉守(水晶) 1,000円

41 安産守 1,000円

40 子宝守 2,000円

39 縁結び守 1,000円

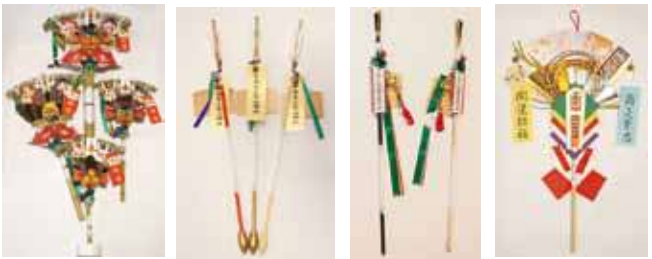
38 病気平癒守 2,000円

43 勾玉守(タイガーアイ) 1,000円

44 勾玉守(アメジスト) 1,000円

45 勾玉守(ローズクォーツ) 1,000円

57 熊手(特大) 10,000円
58 熊手(大) 5,000円
59 熊手(中) 3,000円
60 熊手(小) 2,000円



48・49 干支絵馬 (大)5,000円・(中)3,000円

46 神馬絵馬 1,000円

67 破魔弓(朱) 2,000円
68 破魔弓(黒) 2,000円

54・55・56 箭矢 (白・朱・金)各2,000円

52・53 神針 (白・黒)各2,000円

51 福扇 2,000円



66 宝船七福神 2,000円

65 扇守 2,000円

63・64 福俵 (大)3,000円(小)2,000円

62 福箕(台付) 2,000円

61 熊手(台付) 2,000円

50 干支絵馬(小) 1,000円

47 合格絵馬 1,000円

絵馬・縁起物他

オタリヤ縁起物 (12/15・1/8~1/15授与)



80 火防まとい 1,500円
81 火防まとい(台付) 1,500円

79 火防大麻 1,000円

78 二荒暦 300円

73~77 ケース入神矢 (朱・橙・黄・緑・紫) 各1,000円

72 干支木彫 2,000円

69 よりそい土鈴 1,000円

70・71 干支土鈴 (大)1,000円・(小)500円



お焚き上げについて

お焚き上げお納めは有料です。また、神社に関係ないものはお焚き上げできません。神札・御守・縁起物など以外は持ち込まれませんよう、お願いいたします。

日時 12月15日・1月15日
午前8時～午後7時

※事故防止・安全確認のため、お焚き上げ物の内容を確認させていただく場合があります。

おはらいしき **大祓式**

12月31日に、半年間の災いを祓い新年をむかえるための大祓式を執り行います。ご自身の身代わりに、人形ひとがたを納めてお祓いを受けられます。人形(初穂料100円)は神社で授与致します。

駐車場ののご案内

神社の駐車場料金は、正月期間中は全車有料100円となります。ご了承ください。大晦日、大通りへの駐車はできませんのでご注意ください。

神社の情報をこちらでも

神社ではインターネットなどでも情報提供をしています。ご参照ください。

ホームページ <http://futaarayamajinja.jp/>



宇都宮二荒山神社

検索

スマートフォンなどでもご覧いただけます。



宇都宮二荒山神社【公式】
 @futaarasan